

お客様各位

---

## カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

---

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日  
ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

お客様各位

---

## 資料中の「日立製作所」、「日立XX」等名称の株式会社ルネサス テクノロジへの変更について

---

2003年4月1日を以って三菱電機株式会社及び株式会社日立製作所のマイコン、ロジック、アナログ、ディスクリート半導体、及びDRAMを除くメモリ(フラッシュメモリ・SRAM等)を含む半導体事業は株式会社ルネサス テクノロジに承継されました。従いまして、本資料中には「日立製作所」、「株式会社日立製作所」、「日立半導体」、「日立XX」といった表記が残っておりますが、これらの表記は全て「株式会社ルネサス テクノロジ」に変更されておりますのでご理解の程お願い致します。尚、会社商標・ロゴ・コーポレートステートメント以外の内容については一切変更しておりませんので資料としての内容更新ではありません。

ルネサステクノロジ ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2003年4月1日  
株式会社ルネサス テクノロジ  
カスタマサポート部

# 日立半導体技術情報

前略、下記日立半導体技術情報をお送り致しますので、御検討よろしくお願ひ申し上げます。

〒 100-0004  
 東京都千代田区大手町2丁目6番2号(日本ビル)  
 TEL (03)5201-5030 (ダイヤルイン)  
 株式会社 日立製作所半導体グループ  
 メモリビジネスユニット  
 高速SRAM設計部 / マーケティング部

製品区分	SRAM	発行番号	TN - M62 - 112A	Rev 1.0
題目	ご使用上の注意事項		分類	① 仕様変更 ② ドキュメント訂正追加等 ③ 使用上の注意事項 ④ ラインの追加
適用製品	4M高速SRAM Cマスク全般	対象ロット等	関連資料	有効期限
		全ロット	日立ICメモリデータシート ADJ-203-563B/564B/565B/566B 567C/568C/569C/629A 642A/655A/656A	永久

SRAM製品の高速化に伴い各種設計マージンの確保が困難になる傾向にあります。SRAMは、入力信号ノイズ及び電源ノイズにより正常動作を阻害される可能性が従来にもまして増加傾向にあります。今回、4M高速SRAM Cマスク品において、不具合未然防止のため、下記内容についてご留意頂きたく宜しくお願ひ申し上げます。

1. ご案内事項

4M高速SRAM Cマスク品にてWrite Verify (図1、\*1参照)時にデータは正しく書き込まれますが、ノイズ等の影響を受け、誤データを読み出す可能性があります。再度読み出しを行って頂ければ問題はありません。下記を御参照の上、ご対応を御願ひ申し上げます。

2. 対応処置内容

下記(1) (2) のいずれかの対応を御願ひします。

(1) 同一サイクル内でWriteを行った後Verify Read動作を行うことを回避願ひします。  
 書き込みデータのVerifyを行う場合は、一端アドレス入力または/CSを切り換えた後に行うようにしてください。

(2) Din入力波形ひずみおよびスキュー(図2)による影響を受けないようご使用を御願ひ致します。  
 Din 入力データを確定させた後、/WEのLow遷移(書き込み)を行ってください(図3参照)。

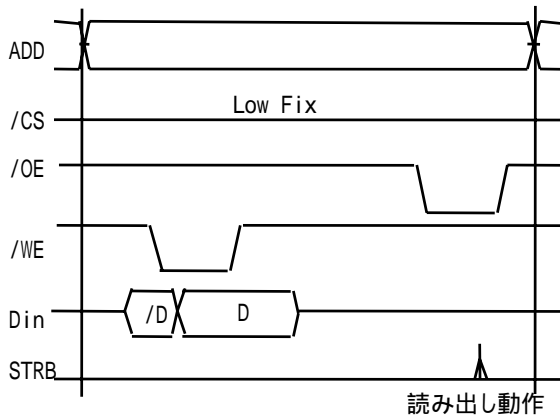


図1. Write Verify タイミング

\*1) Write verify : 同一アドレスサイクル内でデータの書き込みを行った後、データの読み出し動作を行う。

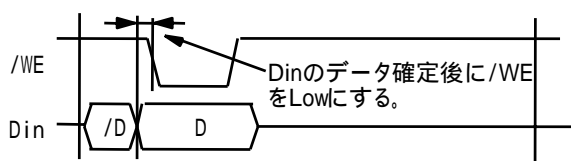


図3. Write Verify タイミング(対応後)

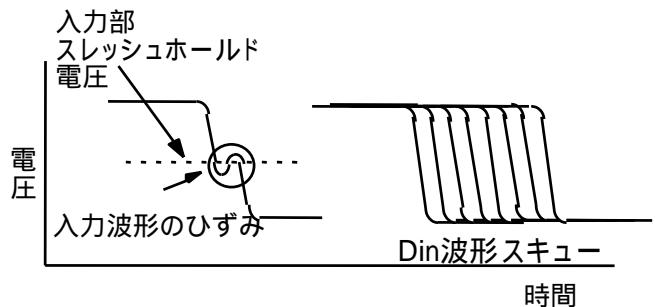


図2. Din入力波形

以上